

令和3年第18回庁舎等整備調査特別委員会会議録

令和3年8月27日 八雲町議会議員控室

○事 件

- (1) 最終報告について
- (2) その他

○出席委員（12名）

委員長	三澤公雄君	副委員長	大久保建一君
委員	関口正博君	佐藤智子君	横田喜世志君
	斎藤實君	赤井睦美君	牧野仁君
	安藤辰行君	宮本雅晴君	千葉隆君
	黒島竹満君		

○欠席委員（1名）

委員 田中裕君

○出席委員外議員（0名）

○出席事務局職員

事務局長	三澤聡君	事務局次長	成田真介君
庶務係長	松田力君		

◎ 開会・委員長挨拶

○委員長（三澤公雄君） それでは、時間になりましたので、第18回八雲町役場庁舎等整備調査特別委員会をはじめます。委員長挨拶は割愛させていただきます。

◎ 事 件

○委員長（三澤公雄君） 早速、最終報告について協議を始めますけれども、事務局のほうからよろしく願いいたします。

○議会事務局長（三澤 聡君） それではですね、最終報告案につきまして、簡単に説明させていただきます。事前にお配りしておりますので、皆さん目を通していただいていると思いますけれども、よろしく願いいたします。

それでは、座ったまま説明させていただきます。最終報告案の構成といたしましては、平成31年3月定例会で中間報告書を本議会で報告しておりますので、その後の経過を追加するかたちで作成しております。まずは1ページから7ページまでが中間報告書の内容を掲載しております。8ページから13ページまでが中間報告書以降の経過をまとめております。いわゆる第2ステップとして活動していた期間でございます。第2ステップでは9回の特別委員会を開催し、また小委員会を設置して、2回の小委員会を開催し協議しております。その結果を要墓所案としてまとめ、特別委員会のほうに報告しております。また、八雲養護学校の視察調査も実施しております。9ページからの特別委員会での調査検討内容につきましては記載のとおり順を追ってまとめております。

平成31年3月に町長に対して提言書を提出し、令和2年度において町側で基本計画の作成に着手し、具体的な議論に入っていました。その中で特に議会機能につきましては、特別委員会として先行して対応する必要があるとの考えから、議会機能に特化した小委員会を設置し検討しております。その検討結果に基づきまして特別委員会で協議した結果を要望書として町に提出しております。その内容は34ページからの要望書になります。その後町から基本計画案の説明を受けて、これまでの特別委員会の提言事項と要望事項がどのように反映されているかということを確認しております。その結果、提言事項につきましては、おおむね反映されているものと判断できるという結論にいたしております。

また、要望事項の具体的な内容につきましては、次の基本設計に盛り込まれるものと思われるため、これらについて町の考え方を確認すること歳、令和2年12月24日に町長に意見書を提出し、翌年1月6日に回答があり、その内容について協議しております。

新庁舎の配置の見直しと全体として前向きに検討する旨の回答が出されているほか、特別委員会としては了知したという総括を行ったところでございます。

意見書の内容は、39ページから掲載しております。また町からの回答書は43ページから掲載しております。

また、そのほかに新たな意見としまして、12ページ上段に記載しておりますけれども、木材の使用と駐車場での避難者用の非常電源の確保について検討することを町側に申し入れることとしております。

14 ページの調査結果としましては、これまでの経過を簡単にまとめております。また、町に対して今後においてこれまでの特別委員会からの意見等を十分に検討することと、新型コロナウイルス感染症等による経済の影響は大々なものと思われまので、経済情勢を慎重に見極めて限られた財源を有効かつ適正に執行するように努められ、町民の安全安心を支える八雲庁舎となるよう、丁寧かつ慎重に事業を進められるものと求めた内容としてまとめております。

以上が最終報告書案の説明とさせていただきますので、ご審議のほどよろしくお願いたします。

○委員長（三澤公雄君） 今、局長からだいたい事前に配られた資料についての説明が終わりました。皆さんもここまでの会議の記録を呼び覚ましたり、報告書を読んだ中で、新たに何かこの場において発言しておいたほうがいいのかと思うことがありました、是非、ご意見を聞かせていただきたいと思います。よろしくお願いたします。

○委員（佐藤智子君） はい。

○委員長（三澤公雄君） 佐藤委員。

○委員（佐藤智子君） 誤字脱字関係でもいいんですか。

○委員長（三澤公雄君） いいですよ。

○委員（佐藤智子君） それと、細かいところなので、スルーしてもいいんですけども、あとその後でちょっと意見を言わせてもらいます。

11 ページの上から2行目で、省エネルギー対策になっているので、伸ばしを入れて下さい。

それとあとですね、その同じ段落の図の上なんですけれども、町に再検討していただくこととしたというのはいいんですけども、上にもしていただきたいというのがあるので、再検討を求めたという言い方もいいかなと思いました。

あとですね、14 ページ調査結果なんですけれども、ここもこまいんですけれども、下の段落の上の部分なんですけれども、最終報告を受けましたって丁寧語になっているので、受けたというのになるかなと思えます。

それとあと一つだけ、行政側からの回答の綴りが最後のほうに43 ページからありますけれども、ページをめくるときかさまになってしまうので、この組み方は変えられないかなということです。スルーしてもらった部分もあっていいんですけども、見やすさとしてはちょっと上に向いていたほうがいいかなと思いました。

それで意見なんですけれども、別紙5と書いている39 ページから40 ページなんですけれども、この公民館跡地高齢施設検討に対する意見というので、町長のほうからは公民館跡地に小規模な交流施設を整備するという案が示されていますけれども、この委員会としては、コンパクトシティを目指す観点からもシルバープラザや町民センターの利用を促進する必要があると思うので、慎重に検討を願いたいとなっているんですけども、ここを利用している方たちの願いも無視できないと思いますので、これに関しては、付け足して住民の願いも尊重して慎重に検討するとか、そういう表現を付け加えられないかという意見です。以上です。

○委員長（三澤公雄君） 委員の皆様から一つ一つ意見を聞いてから協議するとごちゃごちゃになる感じがありますので、一つ一つ上がった意見に対して、皆様のほうから発言を願いたいと思います。

今の佐藤さんの指摘事項は、しっかり直していくべきかなと僕も思いますので、それは事務局のほうもよろしく願いいたします。

後半の発言の内容について、皆様からどのように思われたかご発言をお願いいたします。

結構、配慮した文書になってると思うんですね。それは住民からのそういう要望を受け田町の考え方を無下にこうすべきだという委員会のまとめ方ではなくて、実際に協議しているときには佐藤委員や横田委員のほうからもそういった施設の必要性を踏まえた上で協議して、だから慎重に検討を願いたいという言葉の結びの中で、当委員会としては、もちろん多数意見はやはり新しくできた庁舎等の利用を高めるべきだというスタンスに置いていますから、少数意見を踏まえた上で慎重に検討を願いたいという結びになったと僕は記憶しています。だから佐藤さんの今改めて住民の声を云々というのは、僕は含まれていた上でこの文書作成だと思って読んでいましたが、皆さんの意見はどうでしょうか。

えっと、ちょっと解釈の部分で僕はそこの部分の文書には入ってると思ったんですけども、一方でこの資料の最後のほうの、今、あべこべになっているんじゃないかという指摘を受けた部分の、43 ページの下段にですね、このことに対しての特別委員会から意見を出して町の回答を貰っています。これを読みますと、公民館跡地への交流施設お必要性について再度見直しをし、基本設計に入る前までに結論を出せるように引き続き検討をしまいたいというふうに、町は我々の意見を受けて検討するというかたちで受け取っていますので、我々の意見は受け止めていただいて、その必要性を含めて基本設計前に町は結論を出せるようにもう一度やるということなのでね、その佐藤委員の指摘は十分に町には組んでもらっているんじゃないかなと思われるんですが、皆様の意見並びに発言者の佐藤さんも含めてどうですか。

○委員（赤井睦美君） はい。

○委員長（三澤公雄君） 赤井委員。

○委員（赤井睦美君） 私も、町民センターってイメージとして遠いというイメージは、皆さんの公民館の●●の中にはあるということで、庁舎とか町民センターとか今ある公民館とかを建物だけで考えるんじゃなくてそのときの意見としては公共交通もこれも一緒に含めて考えていくことによってそこは解決できるんじゃないかという話だったと思うんですね。そこで納得したんですけども、やっぱり建物をどうするかだとか、どこを使うかということだけではなくて、そういうことも一緒に含めて考えていただけると納得できるのかなと思いました。

○委員長（三澤公雄君） そこも含めて機能ができてたと思うんですね。要するに遠いというものに対して町内での公共交通のあり方はこれはセットだよねという議論で話されていたと思いますが。

○委員（佐藤智子君） はい。

○委員長（三澤公雄君） 佐藤委員。

○委員（佐藤智子君） そういう意見も踏まえてこの報告書案が作られたとは思いますが、そうだったなというのも思い出しましたが、やはりその公共交通機関に乗るだけではなくて歩いていける距離になるというのは気持ち的にも健康的にも良いのではないかと思いますし、遠い人はもちろんほかにもいるんですけども、こういうコロナのようなことがあるときに、これ言っちゃおしまいかもしれないですけども、公共交通機関を利用すると

きに密にならないような配慮で手配されると思うんですけども、乗るのをためらってしまうということも出てくるかもしれませんので、でもこれを無理にこれ以上変えろというのも無理かもしれないんですけども、その集会所、だいたい建物を作ってほしいという願いは消えてないと思うので、それをその議会も覚えておいたほうがいいと思いますし、その町民の思いをこれはあくまでも議会なんですから、町民側も届けるというのをもっと利用する人たちが意識するということが必要なのかもしれませんね。だから無理に変えろとは言いませんけれども、こういう願いを町のその立場の視点も大事ですけども、町民目線とか町民の思いというのもそういうのもあるんだなということは意識しておきたいなと私は思います。以上です。

○委員長（三澤公雄君） この委員会、14人、13人の委員で協議した中で、やはりまったくどこから見ても一つの意見にまとめるなんてやはり無理な中で合意をしていた。これを大事にして基本設計にこれから町が挑むことを僕等は目指していたわけで、だから町が基本設計を出したときに、今度は個別に委員の思いでその基本設計に対して、私はこのたとえば調査委員会でまとめたものはこういう思いでまとめたんだということをもって基本設計・実施設計に到るときに、議員として発言することは僕はおかしくないんじゃないかなと。ただ、全体13人でこの考え方でまとめたよねっていう苦心の作ではあるわけですから、そこにはみ出さないかたちかどうかは、そのときのいろんな表現の仕方で難しいことはあると思いますけれども、佐藤委員の思いは、この報告書の中には●●含めて反映されるかたちでやっていたものだと思います。

ほかにありませんか。なければ。

○議会事務局長（三澤 聡君） 一ついいですか。

○委員長（三澤公雄君） 局長。

○議会事務局長（三澤 聡君） 先ほど佐藤委員から出されました、43ページ以降の綴り方なんですけれども、ここは事務局も作る段階で、どの向きにしたらいいのかと悩んだところなんですけれども、見やすさといけばこういうかたちではなくて、たとえば44ページを反対にするという意見で。そちらのほうがよろしいんですかね。

○委員（大久保健一君） 配布した資料が逆になってるのさ。

（何かいう声あり）

○委員（大久保健一君） あとから刷ったやつは直ってる。事前配付したやつがおかしかった。

（何かいう声あり）

○委員長（三澤公雄君） はい。わかりました。

○委員（千葉 隆君） 手間暇かかるから今のままでいい。

○委員長（三澤公雄君） 今、手元にある大方の皆さんののは、綺麗で見やすいものです。私と佐藤さんのが違う。

（何かいう声あり）

○委員長（三澤公雄君） それでは、報告書案の中身については、異論はないということなので、9月定例会の最終日において、委員長の口述の中で付け加えること、先ほど言った部分を含めて発言してきますので、よろしく願いいたします。

◎ 閉会・解散

○委員長（三澤公雄君） それでは、特別委員会を終わります。ありがとうございました。

[閉会 午前11時07分]